

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : 消火器用消火薬剤 粉末 BC(Na) 薬第 43～4 号  
 整理番号 : DC-004(7)  
 会社名 : 日本ドライケミカル株式会社  
 住所 : 〒114-0014 東京都北区田端 6-1-1 田端 ASUKA タワー  
 担当部門 : 技術部 (TEL:03-5815-5025 Fax:03-3822-9770)

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

|          |                 |       |
|----------|-----------------|-------|
| 物理化学的危険性 | 可燃性固体           | 区分外   |
|          | 自然発火性固体         | 区分外   |
| 健康有害性    | 急性毒性(経口)        | 区分外   |
|          | 皮膚腐食性/刺激性       | 区分 3  |
|          | 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | 区分 2B |
|          | 特定標的臓器/全身毒性     | 区分 1  |
| 環境有害性    | 水生環境有害性(急性)     | 区分外   |
|          | 水生環境有害性(慢性)     | 区分外   |

上記以外の項目については、分類できない、又は分類対象外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 軽度の皮膚刺激

眼刺激

胃破裂の障害

注意書き :

予防策 : 本安全データシートをよく読み理解するまで取り扱わないこと。  
 適切な保護具を着用すること。  
 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。  
 粉じんを吸入しないこと。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。

対応 : 気分が悪いときは、医師に連絡すること。  
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。  
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
 取り扱った後、手を洗うこと。

保管 : 密閉容器に入れ、可能であれば施錠して保管すること。

廃棄 : 内容物/容器等は、関係法令に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分:混合物

| 化学名または一般名 | 含有量(%) | 化学式                | 官報公示番号                       | CAS No.   |
|-----------|--------|--------------------|------------------------------|-----------|
| 炭酸水素ナトリウム | 95~97  | NaHCO <sub>3</sub> | 1-164(炭酸ナトリウム)<br>1-310(炭酸水) | 144-55-8  |
| 二酸化珪素     | 2~3    | SiO <sub>2</sub>   | 1-548                        | 7631-86-9 |
| シリコン樹脂    | 企業秘密   | 企業秘密               | 企業秘密                         | 企業秘密      |
| 着色料       | 企業秘密   | 企業秘密               | 企業秘密                         | 企業秘密      |

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 :直ちに新鮮な空気のある場所に移動させ、安静にする。
- 皮膚に付着した場合 :石鹼水で洗浄し、多量の水でよく洗い流す。
- 眼に入った場合 :直ちに清浄な水で15分以上洗浄する。
- 飲み込んだ場合 :水で良く口の中を洗浄し水を大量に飲ませ医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

該当しない(本製品は消火剤である)。

### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 :作業の際にはゴム手袋、保護眼鏡、保護服等を着用し、飛散物等が皮膚に付着したり吸入したりしないようにする。
- 環境に対する注意事項 :飛散拡大防止措置を図り、回収する。また、薬剤及び洗浄に使用した水が、下水/河川等に流出し、環境への影響を起ささないようにする。
- 除去方法 :飛散した粉末は、掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策及び注意事項 :取り扱いは換気の良い場所で行う。
- 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。
- 取扱いの都度、容器を密閉する。
- 粉塵を吸入したり、眼に入らないようにする。
- 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
- 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

- 保管条件 :雨水、直射日光があたらないように保管する。
- 通気の良い場所で容器を密閉し保管する。
- 使用温度範囲内の場所に保管する。

安全な容器保管材料 :該当する消火器及び薬剤缶が望ましい。

### 8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 :粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
- 管理濃度 :設定されていない。
- 許容濃度 :設定されていない。
- 保護具 呼吸器の保護具 :呼吸器保護具(マスク)
- 手の保護具 :保護手袋(ゴム、ビニール等の材質のもの)

眼の保護具 :保護眼鏡  
皮膚及び身体の保護具 :保護服、保護長靴、保護前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

外観 :淡緑色の粉末  
臭い :なし  
pH(20°C) :約 8(5%水溶液)  
引火点 :なし  
爆発限界 :データなし  
比重 :約 2.2(かさ比重:約 1.1)  
溶解性 :データなし(撥水性あり)

## 10. 安定性及び反応性

安定性 :常温で安定  
反応性 :酸と反応して炭酸ガスを発生する。  
避けるべき条件 :高温高湿度環境下、酸性物質との混在、直射日光・雨水など

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口) :区分外  
吸入(粉塵) :データ不足のため分類できない。  
経口摂取すると、悪心、嘔吐などを起こすことがある。  
皮膚腐食性/刺激性 :皮膚に対して軽度の刺激性がある(区分 3)  
眼に対する重篤な損傷/刺激性 :眼に対して刺激性がある(区分 2B)  
呼吸器感作性 :データ不足のため分類できない。  
皮膚感作性 :データ不足のため分類できない。  
生殖細胞変異原性 :データ不足のため分類できない。  
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) :胃破裂の障害(区分 1)  
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) :データ不足のため分類できない。  
吸人性呼吸器有害性 :データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性 魚毒性 水生毒性(急性) :区分外  
水生毒性(慢性) :区分外  
残留性/分解性 :データなし  
生態蓄積性 :データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :適切な保護具を着用し、「廃棄物の処理及び清掃に関する法」等の地域条例を含む関連諸法令に従って行うか、又は許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処理する。  
汚染容器・包装 :内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

国内規制 :適用法令なし  
輸送の特定の安全対策及び条件 :輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
容器が密栓されていることを確認する。

## 15. 適用法令

自治省令第 28 号(昭和 39 年 9 月 17 日)自治省令第 7 号(昭和 62 年 3 月 18 日)

「消火器用消火薬剤の技術上の規格を定める省令」

化学物質管理促進法 :非該当

労働安全衛生法 :名称等を通知すべき危険物及び有害物(第 57 条 2 令第 18 条 2 別表第 9)  
シリカ(二酸化珪素)

## 16. その他の情報

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の実施を前提としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保障するものではありません。